

単元名 ミシンにトライ！手作りで楽しい生活

配当時間 11 時間

- 単元の目標** (1) ミシン縫いによる製作に関する、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
 (2) ミシン縫いによる製作について、課題を見付け、それらの課題の解決を目指して、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
 (3) ミシン縫いによる製作の知識及び技能を身に付けようとしたり、製作計画や製作をよりよく工夫しようとしたりする。

標準的な展開例

05090301_001

【準備等】 布見本、布製品見本、段階見本、製作計画表、ミシン、裁縫用具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 ミシン縫いのよさを見付ける。 ★ミシンでぬわれた物の特徴を見付けよう ○学校生活で使っている布製品を観察し、分かったことを話し合う。 ・くり返し洗って使える。・物の形に合わせられる。 ○手縫いとミシン縫いの特徴を理解する。 ○布製品の特徴をまとめる。 2～4 ミシン縫いの基本操作を知り、直線縫いの練習をする ★ミシンの使い方を知ろう ○ミシンの各部の名前を覚える。 ○針の付け方、外し方を練習して、空縫いをする。 ○下糸の巻き方、出し入れの仕方を練習する。 ○上糸のかけ方と下糸の引き出し方を練習する。 ○直線縫いの練習をする。 5～6 製作する物を決めて、製作計画を立てる。 ★生活に役立つ物を作る計画を立てよう ○布製品の手触りや厚み、縫い目などを観察する。 ○製作計画を立てる。 ・製作する物 ・用途 ・材料 ・用具 ・縫い方と手順 7～10 計画に従って製作する。 ★生活に役立つものを作ろう ○製作の手順を確認する。 ・型紙を作る。・しるしを付ける。・布を裁つ。 ・ぬう。 ・アイロンをかけて仕上げをする。 ○手順に従って製作する。 ○困ったことや気付いたことなどを周りの人に教え合う。 ○作品の仕上げをする。 ・糸の始末 ・アイロンがけ 11 世界に一つだけの作品を楽しく使う。 ★手ぬいやミシンぬいの作品やぬい方を生活に生かそう ○製作した作品について話し合う。 ○友達の作品を参考に、ミシンを使って作りたい物を考える。	・p. 62の写真を参考にしたり、あらかじめ家庭で調べさせたりするとよい。 ・手縫いとミシン縫いの作品を見せ、縫い目の特徴やそれぞれの縫い方のよさ、どんな場面で使われているかを考えさせる。 【評】 布製品と手縫いやミシン縫いの特徴を話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・p. 63図1と図2の内容を押さえる。 ・実物を触りながら確認できるようにする。 ・必要に応じて個別指導をする。 ・ペアやグループなどで伝え合いながら練習させるとよい。 ・p. 65の練習カードを利用して評価をさせるとよい。 ・返し縫いと角を曲がる方法も練習する。 ・p. 67の「バンダナ」や「ぞうきん」を作らせることで直線縫いの練習をさせるのもよい。 【評】 ミシン縫いの基本操作をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・作品の製作に適した布を考えさせる。 ・児童の技能に合った計画になるように、助言する。 【評】 製作計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・実物見本や段階見本を用意して、製作の見通しをもたせる。 ・布を効率的に使うように型紙の置き方を工夫させ、布を裁つ前には必ず教師が点検する。 ・手順を示範するようにする。 ・困ったときは、p. 136～138の「いつも確かめよう」を確認するよう伝える。 【評】 布製品を製作する活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・アイロンを使うときの注意点 (p. 136) について指導を徹底する。 ・どのように生活に役立たせるか、生活を楽しむことができるかを話し合わせる。 【評】 作品についての話し合い活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ミシン縫いのよさや作品の縫い方を生かした作品を考えさせる。 【評】 作りたい物を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】